

## 列車妨害を許さない！ 何かあれば直ちに関係箇所に連絡を

3月以降、J R 東日本管内で線路上への自転車投げ込みや障害物が置かれるなどの列車妨害が相次いでいます。一部マスコミによれば「5月の一ヶ月間に不審な事象が約 210 件に上っている」とも報道されています。

※3月→約 50 件、4月→約 150 件、5月→約 210 件

J R 東日本会社は 6 月 4 日、各都県警の鉄道警察隊も参加する「東日本鉄道連絡協議会」を臨時で開催し「警察と連携しながら、警戒強化に努める」としています。

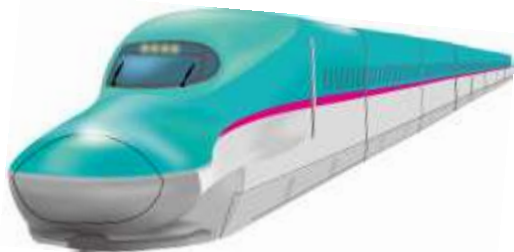
## お客さまと働く者の命を守る

本部は、経営側より「鉄道妨害に関わる事象を知得した場合には、直ちに関係支社等に連絡するように協力を要請する」との「要請書」を受けました。

列車妨害は一步間違えればお客さまの命だけでなく、働く者の命をも奪いかねません。

東日本ユニオンは労使共通認識のもと「安全・安定輸送」を確保し、お客さまと働く者の命を守ることを第一に「何かあれば直ちに関係箇所に連絡をする体制」を構築します。

全組合員はもとより、全社員で列車妨害を許さず、安全で安心できる鉄道をつくりだしていきましょう！



要請書

平成30年6月2日

平成30年3月以降、留置車両の進出や線路上への自転車の投げ込みなど、鉄道輸送に対する妨害や施設、車両に対する悪質な悪意行為が連続発生している状況を会社としては非常に重く受け止めており、昨日、下記内容を全駅別において掲示し、社員に周知を行ったところであります。

これらの妨害事象は、当社の最大の使命である安全・安定輸送と、お客さまへ安心で快適な鉄道輸送を提供することを損なう事象でありますので、貴組合においても、鉄道妨害に関わる事象を知得した場合には、直ちに関係支社等に連絡するように協力を要請します。

記

「安全で安心な鉄道輸送の確保について」

日々、安全・安定輸送の確保と品質の高いサービスへの取り組み、ありがとうございます。

既にマスコミ報道などでご承知のことと思いますが、3月以降、留置車両の進出や線路上への自転車の投げ込みなど、鉄道輸送に対する妨害や施設、車両に対する悪質な悪意行為が連続発生しており、会社が認知した件数は、5月末までで400件を超えています。

こうした事象を受け、会社としても、社員や駅員による巡回、防犯カメラの増設など警戒態勢の強化に加え、警察との緊密な連携などの対策を実施しているところですが、現時点でも、なお鉄道妨害等を経られる事象は続いています。

いままでもなく、お客さまに安全で安心してご利用いただける鉄道輸送を確保することは、私たち鉄道に従事する者すべての責務です。会社としては、さらなる対策強化に努めてまいります。社員の皆さんも、不審な行動や事象に留意し、これを見つけた時、または施設や車両の異常に気づいた時には、速やかに管理者や駅中の社員等に報告し、必要な対応をとる等、神速の警戒・協力をお願いします。

私たちの協力を挙げて、安全で安心してご利用いただける鉄道輸送の確保に取り組みしましょう。社員の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

平成30年6月1日

支社長